

## 8 報告

### (3) 中馬場遺跡出土草摺の保存処理について

#### ア 経緯

- R3.11 元興寺文化財研究所の塚本センター長から、柏市で保管している草摺を研究のため実見したいとの希望あり  
千葉県教育振興財団で草摺を確認
- R3.12～R4.1 草摺に関する資料調査（文化課）
- R4.2 千葉県文化財課へR5国庫補助事業を申請可能か相談
- R4.7 千葉県文化財課からR6国庫補助事業として要望するよう指示
- R5.6 文化庁令和6年度事業計画提出
- R5.11 文化庁令和6年度補助要望
- R5.1 文化庁ヒアリング→内示→交付申請
- R5.4～ 交付決定→委託契約・着手

#### イ 概要

##### (ア) 出土状態

- a. 昭和43年度実施の中馬場遺跡第2次調査で出土  
(中馬場遺跡第3次発掘調査報告書に掲載)
- b. 単独の土坑 (SK29) (5m×1.5m) から出土
- c. 土坑からは、題目板碑、内耳土鍋 (2個体)、縁釉挟み皿、かわらけの他、馬骨、馬歯が出土※草摺と同時期のものの可能性がある
- d. 出土遺物
- (a) 題目板碑 明応年間 (1492～1501)
  - (b) 瀬戸縁釉挟み皿 大窯I期 (1480～1530)
  - (c) かわらけ 16C 初頭
  - (d) 内耳土鍋 16C頃を境に器高が浅くなる傾向がある
- e. 本来は皮の上に漆を塗ったものであるが、出土品は皮が腐朽して失われており、外側の漆のみ残存している状態。

#### ウ 事業内容

保存処理対象はテンバコ5箱分

4カ年計画で保存処理(整理、X線写真撮影、調査等)を行う

1年目に委託先作業所へ資料搬送を行い、順次X線写真撮影、整理(クリーニング・強化処置等)、破片接合、保存処理後調査・写真撮影、類例調査を実施する。

# 中馬場遺跡出土草摺寫真



草摺出土狀況全景



草摺出土狀況



土坑遺物出土狀況



土坑出土遺物



草摺現況



草摺現況